

Title	「いのちの教育 親子の絆」実施結果：アンケート集計結果の概要(2012年度 聖学院大学総合研究所「福井のこころ」研究講演会人間福祉学部こども心理学科新設記念：総合研究所 News)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.1, 2012.9：38-41
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3994
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

2012年度 聖学院大学総合研究所「福祉のこころ」研究講演会
人間福祉学部こども心理学科新設記念
「いのちの教育 親子の絆」
実施結果—アンケート集計結果の概要—

日 時 2012年5月17日(木) 14:00~15:00
(開場13:30)
場 所 聖学院大学チャペル

あいさつ

2012年4月から聖学院大学にこども心理学科が、新しいビジョンをもって新設されました。こども心理学科は、心理学の基礎的知識や技術を身につけた上に、心に深い傷や痛みをもつ子どもたちに「寄り添っていく」人間としての実力をもった学生を育てたいと願っています。寄り添う力には忍耐という愛や人の苦しみを聴く感性や人を信じる力が求められます。

こども心理学科新設を記念して、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生をお迎えします。日野原先生は今、子どもたちにいのちの教育に力を注いでおられます。クリスチャンの医師、教育者、病院理事長として多角的視野から「いのちの教育」についてのご講演をいただきます。

聖学院大学
人間福祉学部こども心理学科 学科長 窪寺俊之

【プログラム】

講 演

日野原重明

(聖路加国際病院理事長・名誉院長)

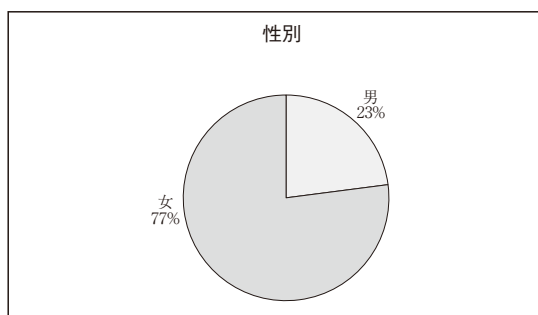
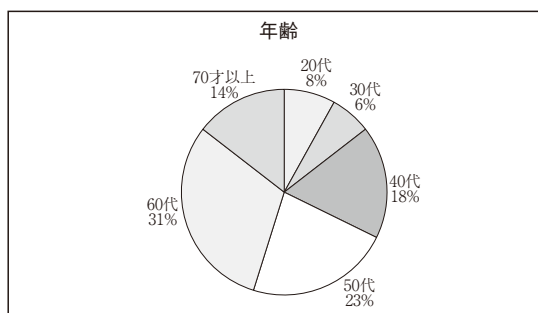
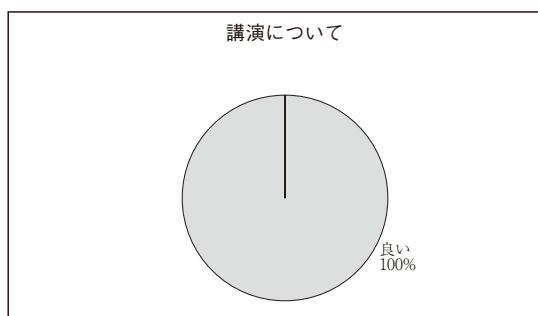
司 会

助川 征雄

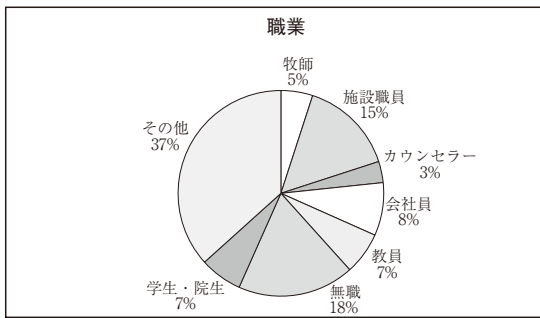
(聖学院大学 人間福祉学部人間福祉学科 学科長)

【結果の概要】

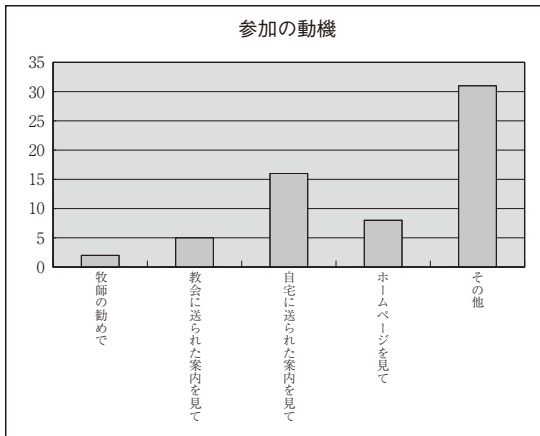
- ・参加者は436名。内、アンケート回答者は64名。
- ・講演について、「良い」が100%と大変高い評価を得た。
- ・自由意見として、「一時間が短かった」「貴重なお話をありがとうございました」「これからの生きる指針を与えられた」「生きる力をいただいた」「こうした講座を開いてくれて感謝」「マイクの音響が悪かった」など。



* 回答者の年齢別には、60代が最も多く30%、次に50代23%、40代18%となった。
性別は、女性が77%、男性23%。



* 職業として、施設職員が15%、次いで会社員が8%。「その他」の内容として、「僧侶」「介護士」「保育士」など。



* 参加の動機は、「自宅に送られた案内を見て」「ホームページをみて」など。「その他」の内容として、「友人の勧め」「職場に送られた案内を見て」「聖学院のFace bookで知って」「職場の研修として参加」など。

リクエスト

- ・もう一度先生のお話を聞きたい。
- ・今回のテーマで続けてほしい。
- ・加藤尚武

自由意見

- ・自分の生き方を考えさせられる講演でした。ありがとうございました。
- ・絆の大切さや、親子とは何の絆にも負けない強い絆で結ばれている。というのが良かった。
- ・人は何のために生きるか、生き生きと生きるためには、人のために命を使うこと。
- ・テーマと話の内容が少しずれているのではないかと思いましたが、とても良い講演内容だった

と思います。とても101歳には見えない日野原先生のお話が聞けて良かったです。

- ・親子の絆は大切なテーマですから、続けてくださると感謝です。先生の講演のレジュメ、テープがあるといいですね。質疑の時間があるとなお良かったと思います。スピーカーのせいでしょうか、司会者の言葉がはっきりと聞き取れなかった。
- ・一時間が何と短かったことでしょうか。日野原先生はきっと10年以上後のことでしょうか「時間が来ましたのでこれで失礼します」といって神様のもとへ逝かれるのでしょうか。私も自分の死をプロデュースできるような生き方を目指します。ありがとうございました。
- ・自分がつらい思いや苦しい思いをしても、同じことに会った人の苦しみをわかることが出来ると思って自分を受け入れていきたいです。
- ・人生の先輩からのメッセージを受け取ることができ、大変うれしく思います。先生の貴重な時間を共に過ごすことが大きな喜びとなりました。
- ・「生きるということは自分の時間を人のために捧げ、いのちを吹き込むこと」という日野原先生の言葉が強く印象に残り、自分もそう意識して生きたいと感じました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・自分の時間の使い方、考え方など改めて考えさせていただきました。100歳をこえているとは思えないお元気でびっくりしました。
- ・職場のスタッフと一緒に聞きたいと思いました。本日は良い機会をいただきまして、ありがとうございました。
- ・とても励まされ、力づけられました。このよう





な講演会を開いていただき、本当にありがとうございました。

- ・100歳7ヶ月とは思えない日野原先生にお会いできてよかった。「寿命は神様からいただいた時間」。これからの人生大切に生きていきたいと思った。
- ・平均寿命から言えば、まだまだ私には時間が十分あり、感謝を持ってあらためて大切な人たちのために使いたいと思いました。ありがとうございました。
- ・自分の日々の姿をあらためていきたいとします。障がいのある子どもたちの中で、仕事をするにあたって命について心にひびきました。先生の声が胸をあつくしました。本日はありがとうございました。
- ・2時間、大きな声でハッキリと講演なさる先生に力をいただきました。命は時間、それをどんな風に使う（過ごす）か改めて教えられました。
- ・参加できる機会を得られてよかったです。感謝しています。大切なことを大切な思いと共に語ってもらえること、それを聞くことが出来て幸せでした。こども心理学科期待しています。社会人向け講座があれば参加したいです。
- ・こどもの心理学科、本当にすばらしい働きとします。ありがとうございました。
- ・こども心理学科の件、NHK見せていただきまし

た。ありがとうございました。

- ・とてもお話に力を受けました。ありがとうございました。
- ・少しでも見習えるようにありたいと思う。
- ・生きる力をいただき、つまづいていた自分を反省しました。これから前向きに生きていきます。
- ・大変すばらしく、これからの生きる指針を頂戴しました。感謝申し上げます。
- ・すばらしかったです。
- ・うつと心の関係を学べたら。
- ・いろいろ考えさせられました。
- ・新しいこども心理学科の学び、新しい教育楽しみにしています。
- ・こうした公開講座を開いていただき感謝しております。
- ・ありがとうございました。
- ・マイク、スピーカーの音質が私には聞きにくかった。
- ・残念でしたが、司会、講演のマイクの響きがあまり良くないので、今後マイクなどの調整をおねがいします。
- ・司会の声が聞き取りにくかった。、マイクのせい？内容がわかりにくい。
- ・マイクのエコーがききすぎて、聞き取りにくい。
- ・音響がよくなかった。残念です。
- ・マイクの音がよく聞き取れなかった。
- ・マイクの音が割れて聞き取りにくい（音が反響して）。コンサートなどの音楽は良いと思うが、講演会は他の会場の方が良いと思う。司会者の声は全く聞き取れない。
- ・マイクを使用しなくてははいけませんか？音がわかれて聞くのが大変でした。





日野原重明 聖路加国際病院理事長・名誉院長

- ・こども心理学科の新設以後の医学への影響について今後も話を聞きたい。
命の大切さの原点は親子の絆を大切にする事だという話をされたと思う。
- ・環境を支えることの重要性を共感しました。
- ・音響が悪く聞き取りにくく、残念でした。司会の方の話はほとんど聞き取れませんでした。
- ・後ろに座っていた学生がずっとおしゃべりをしていて、聞こえないところがありました。注意をしたのですが、未来に向けての学生の姿勢ではなかったのが残念でした。